記録と叙情
鱒旅–フライフィッシング釣行記集
黒石真宏著

魚釣りについて書かれた散文に釣行記と呼ばれるジャンルがある。この本はフライフィッシングの釣行記を集めた一冊である。

釣行記に形式的な決まりはなく、日記、紀行文、ストーリーといったスタイルが入り混じっている。記録のつもりで書き残す人も多い。これらは釣行計画の参考になり、また次回に成果を得るための貴重なデータともなる。時間や場所、釣法、釣果の記録に、狙いをつけた魚を釣り上げたときの感激や、取り逃したときの悔しさが加わると共感や羨望、憧憬といった感情が湧き起こる。

何を記録し、どんな心情を描写すべきなのか。著者は半世紀近く、フライフィッシングという釣法で鱒（脂鰭を持った鮭科魚類の意）を釣ることに固執し、それを釣行記として書き残すことに楽しみを見出してきた。十一編のうち、最初の釣行記は二十代前半、最後は還暦を過ぎてから書かれた。明日の釣りの参考にすべき記録的要素を探り、釣り人の心情に触れることができる。

目次……

○まえがき
○源流帯に棲んでいた野生のニジマス
○鬼怒川の夕暮れ
○レイルロード・ランチ
○ドッグフード・フィーダー
○贖罪プール
○増水スイッチ
○四日目の川
○逃した魚
○スプリット・テイル
○大日如来無為
○山麓の用水路
○あとがき
○文中登場フライパターン＆レシピ

A5判ソフトカバー234ページ、価格￥2000＋税
ISBN978-4-9911383-1-7
発行（株）黒石商店

ご注文は地方小出版流通センター　FAX 03-3235-6182

注文カード

地方小出版流通センター 取扱品

貴店名（帖合）

発行所 （株）黒石商店

書名 鱒旅（ますたび）
–フライフィッシング釣行記集

ISBN978-4-9911383-1-7 C0095 ¥2000E

定価 （本体2000円＋税）

注文数 冊